

WBGT（暑さ指数）の値と必要な対策について

○熱中症が心配される日は、各部活動顧問（部員）がこまめに WBGT の値を確認するとともに、部員の体調管理を行い、熱中症予防に努める。

○測定した WBGT の値は職員室中央黒板に記入し、（31 を超えるときは至急！）全職員で共有する。

○WBGT の値が 31 を超えているときは、教頭（または生徒指導部長）が放送で運動の原則禁止を呼びかける。

○WBGT の測定器は基本的にグラウンド・体育館 2 階に設置されている。

○以下の原則に従うことができない事情がある場合は、個別に管理職と相談する。

活動場所 の WBGT	対策	注意点	気温
34℃以上	活動禁止	<ul style="list-style-type: none"> 身体的な運動を伴う活動は禁止。 文化部での活動やミーティングを行う場合であっても WBGT の値が高い場所で行う場合は、こまめに水分・塩分補給を行う。 	35℃以上
31～33℃	運動は原則中止	<ul style="list-style-type: none"> 必ず顧問の管理下で活動を行う。 やむなく活動する場合は、活動前後に、全員の健康チェックを行う。 →体調不良者は見学とし、活動中や活動後に体調不良になった生徒は保護者に連絡を取り、自宅に無事に帰ったことを確認する。 激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 活動時間は合計 2 時間を超えないこと。 （文化部であっても、WBGT の値が高い場所では同様の対応を行う）。 こまめに休憩（15 分毎）を取り、水分・塩分補給を行う。 活動終了後、生徒の下校を確認する。 	35℃以上
28～31℃	激しい運動は禁止	<ul style="list-style-type: none"> 必ず顧問の管理下で活動を行う。 活動前後に、全員の健康チェックを行う。 →体調不良者は見学とし、活動中や活動後に体調不良になった生徒は保護者に連絡を取り、自宅に無事に帰ったことを確認する。 激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 頻繁に休憩を取り、水分・塩分補給を行う。 活動後、生徒の下校を確認する。 	31～35℃
25～28℃	積極的に休憩	<ul style="list-style-type: none"> 必ず顧問の管理下で活動を行う。 活動前後に、全員の健康チェックを行う。 →体調不良者は見学とし、活動中や活動後に体調不良になった生徒は保護者に連絡を取り、自宅に無事に帰ったことを確認する。 こまめに休憩（30 分毎）を取り、水分・塩分補給を行う。 活動後、生徒の下校を確認する。 	28～31℃
21～25℃	積極的に水分補給	<ul style="list-style-type: none"> 顧問の管理下で活動を行う。 活動前後に、全員の健康チェックを行う。 →体調不良者は見学とし、活動中や活動後に体調不良になった生徒は保護者に連絡を取り、自宅に無事に帰ったことを確認する。 こまめに休憩を取り、水分・塩分補給を行う。 	24～28℃

